

災害事例及び措置情報

番号	管内	県名	発生年月日	鉱種	鉱山労働者数 A: 9人以下 B: 10~49人 C: 50~99人 D: 100人以上	災害事由	罹災者数(人)				原因となった装置・施設等	ハザード(危険の内容)	災害概況	リスクマネジメント実施状況 (発生前)	原因	対策	詳細情報	
							死亡	重傷		軽傷								計
								4週間 以上	4週間 未満									
1	近畿	滋賀県	平成23年 3月23日	長石	A	(坑外)運搬装置のため (コンベアのため)		1			1	ベルトコンベア	巻き込まれ	り災者は、砕鉱場の巡視点検中に一次振動篩抜き出し用ポータブルコンベアが蛇行していたので、テールプーリーに付着している泥を、右手で丸めた軍手を当てて除去していたところ、テールプーリーに右手を巻き込まれり災した。(右肩鎖骨骨折)	ベルトコンベアの使用について現況調査を実施し、その結果を踏まえ故障修理時等の作業方法を保安規程に定めている。	①作業効率を優先し、ベルトコンベアを停止せずにいつき除去作業を行った。 ②安全意識向上のための取り組みが不十分であった。 ③プーリー側面に保護カバーが設置されていなかった。	①毎朝のミーティングにおいて、保安統括者以下全員で作業上の安全留意事項及び手順の確認を行う。 ②プーリー側面に保護カバーを設置する。 ③いつき落としを増設する。 ④保安統括者が作業実施時に各作業員の作業状況をチェックする。 ⑤保安規程にベルトコンベアの清掃作業方法を別途規定し、作業方法をより明確にする(故障修理時の作業方法と記載を分ける)。 ⑥砕鉱場に「巻き込まれ防止」の掲示板を追加設置する。	概要図23-1